

2019年5月15日

『第8回生活環境職場ストレス調査』実施に向けたWG概要

第8回生活環境職場ストレス調査 検討WG

代表 松崎 一葉
メンバー 笹原 信一郎、大井 雄一、道喜 将太郎、堀 大介、大滝 優、
Christina-Sylvia Andrea、高橋 司、白木 渚、池田 朝彦、池田 有、
室井 慧、新井 陽、斎藤 環、泉 龍太郎、友常祐介、高尾 総司、

第8回生活環境職場ストレス調査実施に向けたWGを2018年11月14日から2019年4月24日の期間に全8回実施し、今後の方向性について一定の見解を得たのでこれを労働衛生専門委員会へ報告する。

1. 各WG概要

第1回 2018年11月14日 於・筑波大学

第7回生活環境職場ストレス調査を総括し、質問項目の除外や追加について検討を行った。調査目標、社会への還元方法を明確にして、次回の項目を検討していくことになった。

第2回 2018年12月12日 於・筑波大学

第7回生活環境職場ストレス調査の各質問項目について、引き続き使用するべきか、新たな質問に変更するべきか検討を行った。つくば市との連携、横断調査から縦断調査への変更、予算削減のために調査会社の変更について検討を行った。

第3回 2019年1月16日 於・筑波大学

つくば市との連携についての調査結果、調査会社変更に関する情報共有、つくば市の現状の問題についての検討を行った。調査目的として、自殺予防の重要性が挙げられた。

第4回 2019年1月23日 於・筑波大学

自殺の予防因子に関する検討、調査予算に関する検討を行った。
1月30日の労働衛生専門委員会への提案事項の検討を行った。

この時点での提案

継続の意義：筑波研究学園都市の変遷に伴う最新の調査内容で自殺予防を目的に還元
予算編成：委託先見直しにより80%程度の予算規模で効率的・効果的に実施

第5回 2019年2月20日 於・筑波大学

次回調査時に必要となる倫理的な手続きの検討を行った。

第6回 2019年4月10日 於・筑波大学

次回調査時に必要となる予算の総額を検討した。40万円×3年間の積み立てを要求することとした。

第7回 2019年4月17日 於・筑波大学

参考資料として「自殺」「自殺会議」(著：末井昭)を抄読した。

次回調査時に用いる予定のオンラインアンケートツールに関して検討を行った。

第8回 2019年4月24日 於・筑波大学

つくば市役所で自殺対策に取り組んでいる職員を招きディスカッションを行った。

次回調査時に必要となる予算の内訳を検討した。

2. WGからの提案事項

継続のテーマ：『世界最先端となる自殺ゼロ都市』を目指す

継続の意義：筑波研究学園都市の変遷に伴い、調査を刷新しながら、自殺予防に還元

筑波研究学園都市から、最先端の労働者に対する自殺対策を発信していく

予算編成：委託先見直しにより80%程度の予算規模で効率的・効果的に実施

予算案：

(支出内訳)

オンラインアンケートツール契約料	175,000円×3年間＝	525,000円
諸費用一式(英語対応等)		144,200円
報告書作成費用		500,000円
通信費		10,800円
雑費		20,000円

(積立金)

40万円×3年間(2019~2021年度)	1,200,000円
-----------------------	------------

3. 今後の調査日程案

2019年度 第8回調査準備

2020年度 第8回予備調査

2021年度 第8回本調査、報告書作成

2022年度 第8回報告書発表、第9回準備

以上